

TEAMちほめんの躍進

- 若手・中堅職員が主体的に活動できる体制として、登録制のTEAMちほめんを結成
- 地方創生に取り組む地域の若年層と協力して企画を立案することで、企画内容を多様化
- イベント結果を「ちほめんNEWS」として公表し、地域のPRを兼ねて取組を広く情報発信

TEAMちほめんの結成

地方創生を継続して支援するためには、若手中堅職員が主体的に活動できる体制が必要。



登録制のTEAMちほめんを結成。興味を持つ企画ごとに、自由に参画できる体制を構築。**(当初36名⇒76名まで倍増)**



TEAMちほめんの強み

地方創生に取り組む**地域の若年層と協力体制を構築**

- 地方創生の取組は、自治体をはじめ**地域の若年層が牽引する流れ**になっており、同世代のTEAMちほめんは、**地域に受け入れられやすい環境**。



各企画は**TEAMちほめん全体でブラッシュアップ**が可能

- それぞれの企画は、参画するメンバーで構成していくほか、**全メンバー対象のワークショップでブラッシュアップ**が可能。
- ワークショップ冒頭の局長訓示で、地方創生の意義を認識。

ワークショップ冒頭
局長からの訓示



ワークショップは若手の柔軟な発想を生み出すために**メンバーのみが入室**。
ワークショップ終了後に、**局長ほか幹部が成果品を確認し評価**

TEAMちほめんの躍進

結成後の**企画実績は45件**

- TEAMちほめんの結成後、イベントの**実績は2年間で45件**。**形式的な意見交換にとどまらず、地域の課題を解決**するために、観光・農林水産・中小企業支援等をテーマとして、外部講師を招いたセミナーやワークショップを中心に開催。



従来のセミナー形式に加えて**企画内容を多様化**

- 同世代の地域の若年層と一緒に企画を立案、実行することで、企画内容も多様化。
 - 自治体事業への直接参画(冊子制作協力)
 - 大学との連携(大学生のアイデア活用)
 ⇒ 地域と同世代のネットワークを構築し、継続的にフォローアップを展開。



ちほめんが作成協力して完成した地域の観光冊子

取組の成果は「**ちほめんNEWS**」として外部発信

- ちほめんNEWSでイベントのポイントや経緯を紹介し、**企画未経験者が先例として学ぶこと**で、**新たなチャレンジを可能**とした。
- H29.8から**近畿財務局HPでの外部公表を開始**、広く情報発信。イベント先の地域PRにも寄与。

